

活動テーマ

校区を流れる河川と景観隊に学ぼう

実践事例について

桐原東小学校では、校区を流れる白鳥川での調査・観察を通して、地域ボランティア【白鳥川の景観をよくする会】と本校 5 年生を中心に、学びを共有・交流する環境学習を 14 年間継続している。その活動の様子の紹介である。

1 本校の概要

(1) 本校の立地環境

本校は、児童数 420 名、各学年 2～3 学級の中規模の小学校である。

本校区は、近江八幡市の市街地に位置し、多くの商業施設や公立病院、昔から生活しておられる地元の住宅と近年開発が進んでいる新興住宅地とが混在している。また、校区内には、白鳥川と藤間川が流れており、馴染みのある川となっている。学校も、住宅地と片側 2 車線の比較的大きな道路と藤間川に隣接している。

比較的近い場所に、JR と近江鉄道の「近江八幡駅」があり、線路を超えて通学している児童もいる。徒歩移動が可能な距離に、田んぼや河川があり「たんぼの子」や調査・観察などの環境体験学習がしやすい立地となっている。

(2) 地域とのかかわり

本校もコミュニティスクールを実施しており、地域のボランティアの組織が、学習支援やゲストティーチャーとして、長年にわたって関わってくださっている。

毎月一回、学校運営協議会学校支援グループ代表者会議を行い、地域学校協働本部推進委員と管理職とで話し合い、打合せなどもこの会議で行っている。この組織の中に、「白鳥川の景観をよくする会（景観隊）」も加わっている。

(3) 白鳥川に関わる本校の学習

○ 2～5 年生が、系統立てて「白鳥川」を学習している。

【2 年生】「白鳥川」のこいのぼり見学

【3 年生】「白鳥川」のまち探検

【4 年生】地域の自然「白鳥川」を守る人々の話

【5 年生】「白鳥川」の体験・環境学習

2 5 年生白鳥川の体験・環境学習

(1) 事前学習

4 年生のときに、地域の自然を守る人々の学習の中で、「景観隊」の取組についてゲストティーチャーの話を聞き、わかったことや感じたことを新聞などにまとめた。

5 年生では、実際に川へ行き、調査・観察を行う。4 年生で学習したことを一歩進めて、具体的な川の様子や、観察・調査のポイントなどを景観隊の方々から話を聞き、事前の学習をした。

(2) 景観隊による事前学習

景観隊の取組活動の中に、「小学校児童の環境学習の場づくり」が位置づけられている。

- ・川原の草刈り
- ・説明資料の準備
- ・机、パイプ椅子、テントの準備
- ・観察用具の整備

- (3) 調査・観察（10月4日に実施）
 当日は、2～4校時で活動した。
 景観隊の方は、約20名の参加であった。

○調査・観察について

- A班：川に入り、生き物調査をする。
 B班：川辺で水質テストを行う。
 ①川の水の透明度テスト
 ②川の水質テスト（COD パックテスト）

景観隊の方がグループに分かれ、児童がローテーションをして活動した。

【A班：生き物調査】



【B班：水質テスト】

①透明度テスト



②COD パックテスト



3 ふりかえり

活動を終え、今後の取組を充実させるため、「景観隊」の方々のご意見や学校の思いを合わせながら、「景観隊」の方と話し合いを持った。

「景観隊」の方々のおかげで、地域の学習や理科、総合的な学習など学習が充実している現状と、フローティングスクールでのびわ湖学習へと発展的な学習ができているため、今後ご支援をいただきながら取り組んでいきたい。

最後に、ご支援ご協力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げたい。

学校名	近江八幡市立桐原東小学校
住所	近江八幡市土田町175
電話番号	0748-33-2307
E-mail	Kiriharagashi-es@omihachiman.ed.jp